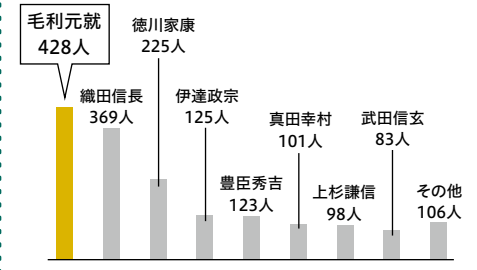


# 毛利元就 アンケート結果

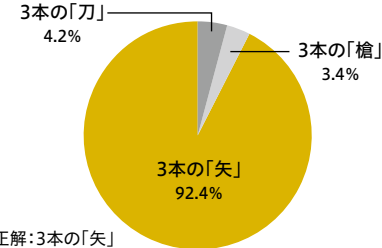
市内の小中学校全校で、毛利元就に関するアンケートを実施しました。元就は子どもたちの目にどんな風に映っているのでしょうか。結果発表です！

## Q1 好きな戦国武将は？



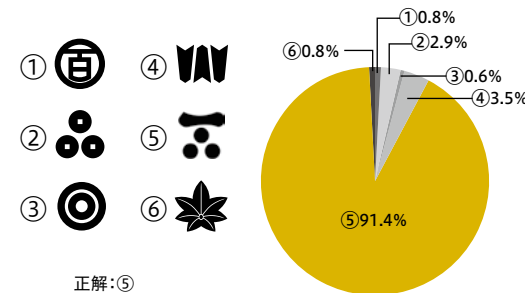
全国的に有名な武将を抑えて、元就が圧倒的な1位を獲得。安芸高田市の子どもたちにとって、毛利元就は身近な存在といえそうです。

## Q2 元就が3人の息子に説いたとされる逸話は？



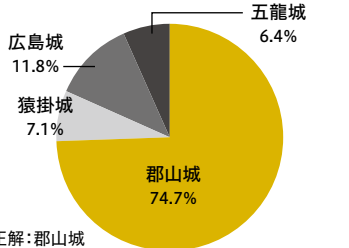
学校や地域などさまざまな場所で耳にするので、市内の子どもたちにとっては簡単な問題でしたね。

## Q3 毛利家の家紋は？



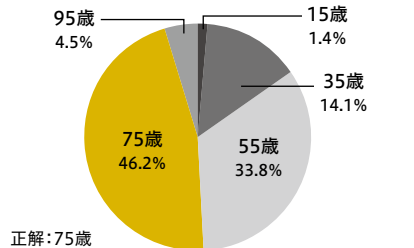
こちらも9割以上の児童・生徒が正解。安芸高田市民は子どものころから慣れ親しんでいることがわかります。

## Q4 毛利元就の墓がある場所は？



学校での副読本を活用した元就についての学習の成果でしょうか、7割以上の正解率になりました。他市ではここまで正解率にはならないでしょうね。

## Q5 元就が亡くなった年齢は？



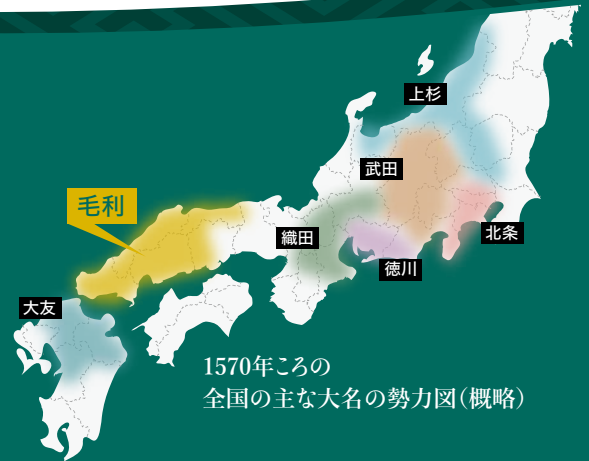
最終問題は難易度高め。大人でも難しい問題ではないでしょうか？55歳と75歳で大きく意見が分かれました。みなさんは正解が分かりましたか？



## 基礎知識講座

元就は、安芸の国人領主だった毛利弘元と正室の福原氏(福原広俊の娘)との間に、次男として誕生しました(幼名:松寿丸)。毛利家当主になったのは、1523年のこと。前当主だった幸松丸が早世し、重臣たちからの要請を受け、当主になりました。

当時の中国地方は大内氏と尼子氏が勢力を持っていました。まだまだ弱小勢力だった毛利氏は大内氏の傘下に入ります。その後、尼子氏と通じていた石見の国人・高橋氏を攻め滅ぼしたのを機に、次々と勢力を拡大。75歳で病死するまで、数多くの合戦をくり抜け、毛利氏を西国随一の戦国大名にしました。



令和3年は、毛利元就の没後450年にあたる記念すべき年です。元就は、安芸吉田の国人領主から一代で中国地方全域を制覇した戦国大名。「三本の矢」などの逸話で広く知られていますが、彼が残した毛利氏は、後の明治維新にも大きな影響を与えました。

そんな戦国ぎつての智将・元就とは、いったいどんな人物でどんな業績を成したのでしょうか。特集では、知っているようで知らなかった毛利元就の姿に迫ります。また、市内小学4～6年生と中学生を対象に、「元就に関するアンケート」を実施。児童・生徒たちの素朴な疑問にも応えます。

現在、令和5年の郡山城入城500年と合わせて、本市でもさまざまなイベントや事業を展開中です。この機会に市の宝でもある歴史や文化財を見つめ直してみませんか？

### 年表で見る毛利元就

西暦	元就年齢	元就関連の出来事	他国の出来事
1497	1	郡山城で誕生(幼名:松寿丸)	
1500	4	父と多治比猿掛城に移る	
1521	25		武田信玄誕生
1523	27	家督を継ぎ郡山城入城 長男隆元誕生	上杉謙信誕生
1530	34	次男元春誕生	
1533	37	三男隆景誕生	織田信長誕生
1534	38		豊臣秀吉誕生
1540	44	尼子晴久が吉田侵攻(郡山合戦)	徳川家康誕生
1545	49	正室(法名「妙玖」)死去	
1546	50	隆元に家督を譲る	
1555	59	厳島合戦 陶晴賢を破る	
1560	64		桶狭間の戦い
1563	67	隆元急死、長男輝元が家督を相続	
1566	70	尼子氏降伏、毛利氏中国平定	
1571	75	郡山城で死去	織田信長が比叡山延暦寺を焼き討ち
1582	—	織田軍と停戦	本能寺の変 織田信長死去
1600	—	輝元が西軍総大将として大坂城入り その後、周防長門に移封	関ヶ原の合戦

# 没後450年 毛利元就を もっと知りたい!

